

アルコール健康障害ってなに？

アルコール依存症その他の多量飲酒、未成年の飲酒、妊婦の飲酒等の不適切な飲酒の影響による心身の健康障害のことを言います。

不適切な飲酒は、肝障害や食道がん、自殺等のリスクを高めるだけでなく、暴言・暴力、虐待、DV等周囲の人を巻き込みます。飲酒運転による幼い子どもたちの死亡事故、大学のサークル合宿でのイッキ飲みによる死亡事故等、同様の事故があとを絶ちません。

これらの不適切な飲酒によって引き起こされる問題に対し総合的に取り組むために、平成26年6月に「アルコール健康障害対策基本法」が施行され、実施に当たっては関係6省庁（内閣府、法務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、警察省）が協力体制を作っています。

①アルコール依存症は珍しくはありません

あの人の飲み方おかしいなと感じることはありませんか？

アルコール依存症患者の推計は109万人。アルコールは依存性薬物のひとつで脳の機能を破壊します。お酒の量や飲み方がおかしくなるのは、意欲や性格ではなく、病気の症状です。



②治療のためにはまわりの力が必要です

お酒の影響を受けている人は、自分の飲み方の異常さを感じる能力が低下します。

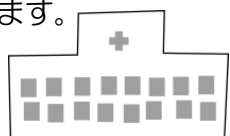
はじめに気付くのは家族や仕事仲間などのまわりの人です。気付いた人が相談機関に足を運ぶことが大切です。



③アルコールの専門治療を勧めましょう

お酒の問題を解決するために、本人自身が問題に向き合う体制をつくりましょう。

そして、冷静かつ率直に「私はあなたのお酒の飲み方が心配だ、治療をしてほしい」と本人に働きかけてください。1度ではなく、たくさんの人から繰り返しお願いします。



④自助グループへの参加が有効です

治療が始まっても、アルコール依存症は完治しないため、断酒が不可欠です。

一人で断酒を続けるのは本当に大変です。自助グループへの参加を応援しましょう。



《アルコール問題相談一覧》

	機関名	電話番号	備考
専門医療機関	刈谷病院	0566-21-3511	予約方法は各病院にお問い合わせください。
	南豊田病院	0565-21-0331	
	こころのクリニック西尾	0563-55-0071	
相談機関	衣浦東部保健所	0566-21-9337	平日午前9時～午後4時30分まで（正午～午後1時除く）
	精神保健福祉センター	052-962-5377	

悩まずに
まずはご相談
ください